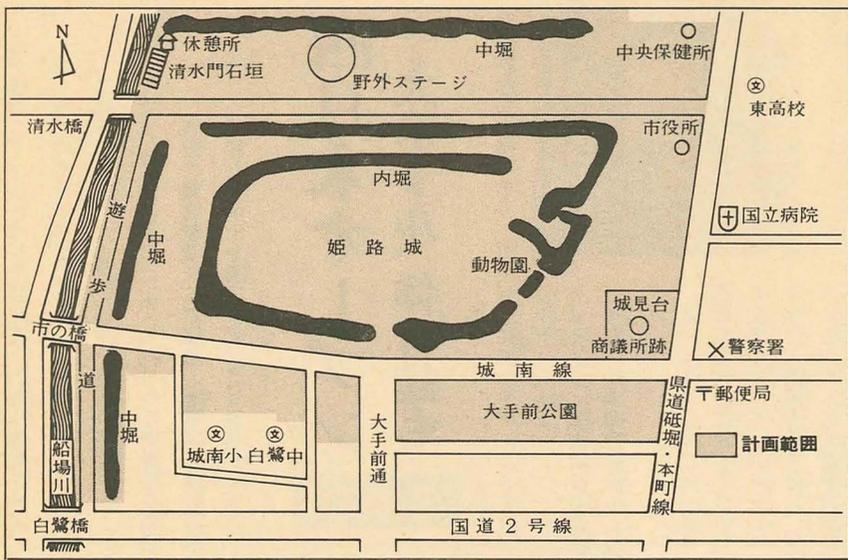


進む城周辺の公園化
日本一の城郭公園として整備

市は、姫路城周辺を日本一の規模の城郭公園にする姫路公園整備計画を進めています。
この計画は、県道姫堀・本町線以西、大手前公園以北、六十五分の特別史跡地の総合公園化をはかるもの。また、城の西を流れる船場川では、船場川整美総合計画の一環として堤防を利用した遊歩道を建設しており、姫路城周辺の公園化に力を注いでいます。

城の北は計画の62%が完了

姫路公園整備計画の第一期工事は、昭和五十一年度から五カ年で、姫山住宅跡地の公園化をはかっています。計画面積は六・一畝で、現在工事の六十二%にあたる約三・八畝の整備を完了しています。



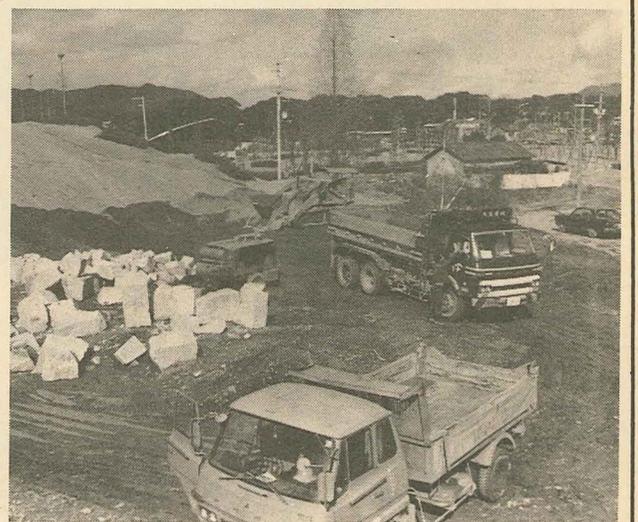
北側から船場川を渡って入城する場合はチェック・ポイントにあたる要門。今までは、わずかに石垣が顔をのぞかせている程度でしたが、今回の発掘で高さ約五尺、幅約七尺、奥行約四尺の往時の姿そのまの石垣が出現しました。
市では早速この貴重な遺構を文化庁と協議のうえ復元保存する計画です。また、同地には、今後、大花壇、千五百平方尺の大草地などが設置され城郭公園の北部地区のポイントとなります。

船場川整美を五カ年事業で

天守閣を仰ぐ 城見台を設置

一方、天守閣の南東部、旧姫路商工会議所、姫路東税務所跡地の公園化は、昨年からの整備を手がけており、三月末に工事をすべて完了する予定です。同地区の公園化にあたっては、広く市民から公園づくりのアイデアを募集し、それを生かして整備をおこなっています。市民のアイデアを公園づくりに採用したのは今回が初めてで、今後の公園建設の指針として注目されています。同地区の敷地面積は約一万平方尺で、新しい公園施設としては、城見台を設けます。

この城見台は、北西部に天守閣を望み、コンクリート造りの台形物見台。高さは一・六五尺、底面積は二百九十九平方尺、頂上部は百二十平方尺(六十二畳分)。頂上部へは、十一段の石段で四方から登れる構造で、宝殿産の黄竜愛護団体の設



城郭公園として着々整備が進む姫路公園(姫山住宅跡地)

立よびかけなどです。このうち堤防整備と遊歩道建設は、すでに二年前から事業に着手し、一部分の工事が終了しています。工事が終了しているのは、姫路城の真西にあたり船場川と中堀が並行する清水橋と白鷺橋間の七百五十坪。同区間は、整美計画の「歴史を歩む川」ゾーンにあたり、城郭公園の一角として整備される場所でもあります。
遊歩道は、船場川堤防を石積み強化して盛土したもので幅三・六尺。西に船場川の流れる、東に姫路城の内堀と土塁をながめながら散歩できる歩道がねらいで、各所にベンチやフラワーポットを設置しています。また、中堀を利用して九カ所に花しょうぶ園(四千株)を設けて歩道に色どりをそえています。
なお、計画では、今後五年間に清水橋と白鷺橋間では、遊歩道を中心に、白鷺橋緑地、清水門公園、市の橋公園を建設し、姫路城公園整備と並行させて文字通り名城公園の一角を構成します。

城郭公園をお祭り広場に活用したい



水野千恵子さん 新身町・主婦 (30歳)

姫路生まれの姫路育ちの私にとってお城は、心のよりどころです。今も毎日とっていい程お城の周辺へ子供を連れて散歩に出かけています。姫路城裏の原始林や、西の船場川のあたりは、ビルの谷間に住んでる私にとっては、やすらぎの場です。今度お城周辺が公園化され、天下の名城にふさわしい日本一の城郭公園になると聞いて楽しみにしています。公園が完成すれば各種の行事やお祭りを行なう市民のお祭り広場として活用したらどうでしょう。

青少年健育運動②

子らの健育で築く郷土の明日

青少年健育運動の五十五年度の予算案が明らかになりました。重点は、施設づくりと運動振興の二本立て。まず、主な施設づくりから紹介しましょう。

地区児童センター(五十五年度から、市内八地区に地区児童センターを建設します。第一年度の五十五年度は、飾磨と広畑に建設を予定。また、網干と東の両市民センターにも併設する計画で、設計を行います。同センターの平均規模は、鉄筋二階建て、約三百平方尺。一階には遊戯室、二階には学習室と図書室を配します。なお、飾磨児童センターには、二十五尺・六コースの温水プールの併設を予定しています。

野外活動施設(そうめん滝キャンプ場の建設が中心。そうめん滝近くの六千二百平方尺を造成し、二百人を収容できる五十カ所のテントサイトなどを整えます。また、太尾・山飾磨に児童センター)



飾磨児童センター

田などの既設のキャンプ場や昨年開設した少年自然の家を活用増進にも努めます。(校区健育施設)校庭クラブハウスは、今年度までに、十八校に建設しました。五十五年度には、さらに八小学校に建設を予定。また、コミュニティルームは、建設済み十校に加えて、谷内・大塩・八幡の三小学校に建設次に健育運動振興の予算案。(学童・幼稚園児保育事業)現在、二十の小学校で実施中。来年度は、これを三十七小学校に拡大するとともに、幼稚園児のカギツ子保育も五園で新設します。(運動体制の強化事業)昨年発足した健育連盟を中心に、地域愛護育成会、青少年健育委員会の活動を充実します。また、小・中学生の合同の余暇活動を進めるため、少年健育団の創設にも積極的取り組みます。もちろん、従来からの校外生徒指導や街頭補導にも、力を入れます。

市民センター相つき完成

心豊かな地域社会づくりめざして

市が建設していた花の北市民広場、飾磨・安室両市民センターが、まもなく完成オープンします。

これらの施設では、既設の城乾・西両市民センターとともに、市民の文化・教養を高めるため、それぞれ定期講座を開講します。また、市の施設の運営管理を、財団法人姫路市施設利用増進協会に委託し、運営の効率化を図ります。なお、中央市民センターも同時に開設します。

四月末オープン 大ホール、体育館も

花北広場

北部副都心の核であり、市民交流の拠点である花の北市民広場が、四月二十三日に完成オープンします。

花の北市民広場は、一昨年から工事にかけ、十月から工事にかかっていたもので、親和連帯のコミュニティを形成し、心通う地域社会の実現をめざす複合的な施設です。

同施設は、敷地面積一万一千五百平方メートル、建築面積六千二百四十九平方メートル、延床面積八千九百七十七平方メートルで、イベントスクエア、大ホール、小ホール、音楽教室、美術工芸教室、展示室、会議室、和室などを備えています。

イベントスクエアは、一千四百平方メートルの広さをもつ祭り広場です。モニメントプラザは、市民が語り合い、憩うことができる七百平方メートルの一角に花北サービスセンターを開設、戸籍・住民票などの窓口業務を行うことになっています。

去る二月二十六日、財団法人姫路市施設利用増進協会が発足しました。

同協会は市の委託を受け花北広場、市民センターを運営管理する財団法人。理事長は吉田市長で市議会の正・副議長ら十三人の理事が置かれます。協会の業務はこれら施設の運営・管理を行なうほか、文化教養講座やスポーツ教室などの各種講座を企画、開講



仕上げ工事を急ぐ安室市民センター

効率運営ねらい 花北広場・市民センター 利用増進協会が発足

します。発足のねらいは、経費の合理化をはかり行政のムダを省く一方、役所サイドになりがちなセンター活動に、柔軟性をもたせることにあります。この協会の誕生で、センターの各種講座の内容や催しが多彩になると期待されています。また、協会職員の指導や研修を行ない各施設の効率運営に力を注ぎます。

定期講座を開く

市は、地域のコミュニティ活動を活発にし、文化・教養を高め、豊かな地域社会をつくるため、四月から飾磨、安室、城乾、西の各市民センターで、五月から花の北市民広場で、それぞれ各種講座を開講します。

市は、花北広場の竣工を記念して、祝賀行事を盛大に行います。行事日程は次のとおり。

▽四月二十三日(水) 祝賀パレード(自衛隊前交)

差点(花北広場)、テープカット(正面入口)、式典・このとおり。

花北広場落成祝賀行事

けら落し(大ホール)、茶会 祝賀記念芸能まつり(大ホール)

ル)、茶会(和室)、華展(中ホール)など▽四月二十三日(水)〜二十七日(日) 市民博士小林平一さんの昆虫・鳥類展(展示室)

飾磨 児童公園も隣接 屋内運動場にも活用

市南部の市民センターとし、美酒に完成します。建物は、五十二年十月から工事が進められていた、飾磨市民センターが三月三十日、飾磨区恵平方で、これまでの地区市

美酒に完成します。建物は、五十二年十月から工事が進められていた、飾磨市民センターが三月三十日、飾磨区恵平方で、これまでの地区市

区分	全日				
	午前 AM 9時～ 正午まで	午後 PM 1時～ PM 5時	夜間 PM 6時～ PM 10時	全日 AM 9時～ PM 10時	
大ホール	平日	6,000	10,000	12,000	25,000
	土・日及び休日	5,000円	8,000円	10,000円	20,000円
音楽教室	1,500	2,000	2,000	5,500	
第1音楽屋	500	500	500	1,500	
第2音楽屋	200	200	200	600	
展示室	平日	1,400	1,900	1,900	5,200
	土・日及び休日	1,600	2,200	2,200	6,000
中ホール	1,500	2,000	2,000	5,500	
小ホール	800	1,100	1,100	3,000	
会議室	400	500	500	1,400	
第1和室	200	300	300	800	
第2和室	200	300	300	800	
第3和室	300	400	400	1,100	
第4和室	700	900	900	2,500	
被服教室	800	1,100	1,100	3,000	
美術工芸教室	700	900	900	2,500	
料理教室	1,000	1,300	1,300	3,600	
茶室	500	700	700	1,900	
陶芸炉	200	300	300	800	



市の北部の拠点となる花の北市民広場



山電飾磨駅北にモダンな姿を見せた飾磨市民センター

4月30日開設

中央市民センターは、消費生活センターが新庁舎へ移転したあと、四月三十日に開設します。

市では、コミュニティ活動の場として地区市民センターを市内八ブロックに分け設置しています。すでに市民会館センターが、十月に網干市民センターがそれぞれ建設工事を開始します。両市民センターの完成は、広畑が五十六年七月、網干が五十七年二月の予定です。また、東部市民センターも、五十六年度に建設を開始する計画です。

広畑、網干、市民センター

7月、10月に着工へ

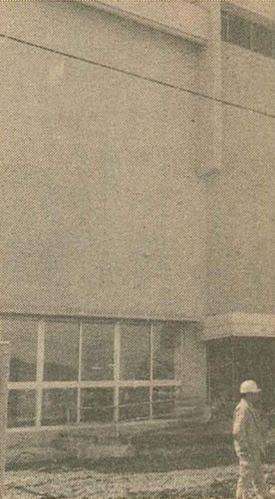
中央市民センターは、消費生活センターが新庁舎へ移転したあと、四月三十日に開設します。同センターは、二階に会議室、三階に管理事務室、倉庫を設け、午前九時から午後九時まで開館します。利用申込みは同センターへ。なお、一階に市役所中央支所を併設し、戸籍・住民票など窓口業務を行います。

数
第1・2・3火曜日
(毎週土曜日)
(毎週水曜日)
(毎週水曜日)
(毎週土曜日)
(毎週金曜日)
(第1・2火曜日)
(毎週木曜日)
(第1・3火曜日)
(毎週火曜日)
(毎週土曜日)
第1・2・3木曜日
第1・2・3火曜日
(第1・3金曜日)
(第2・4火曜日)
(毎週金曜日)
第1・2・3火曜日
第1・2・3土曜日
(毎週水曜日)
(毎週水曜日)
(第1・3土曜日)
(第1・3水曜日)

数
第1・3金曜日
第2・4木曜日
第1日曜日
(毎週水曜日)
(毎週水曜日)
(毎週木曜日)
(毎週木曜日)
(毎週火曜日)
(毎週金曜日)
(毎週第2・4木曜日)
第1・3・4木曜日
第1・3土曜日
(毎週火曜日)
(第2・4日曜日)
(毎週土曜日)
(毎週日曜日)

とで変更

安室 中学屋体に併設 窓口業務も受付



開設を間近にひかえ、

四月三日、田寺に安室市民センターがオープンします。同センターは、安室中学校屋内運動場の一階に開設され、広さは約八百平方メートル。学校の屋内運動場に市民センターが併設されるのは、昨年誕生した城乾市民センターについて二番目。利用施設としては、五十人収容の会議室、三十人収容の普通教室、三十人収容の料理教室、三十人収容の第二

一和室、三十五人収容の第二和室と五つの部屋が設けられています。同センターでは、これらの部屋を利用して茶華道、着付、手芸、書道、陶芸、料理など各種講座を開きます。また自治会や各種団体による多彩な行事の場としても各部屋が利用できます。開館時間は午前九時から午後九時まで、各部屋の利用申込みは同センター

二百五十円(子ども文庫は月百円、剣道は月六百元)。ただし、花北広場のみ一回五百円です。なお入会金は不要ですが、材料費は各自負担していただきます。申込み受付は各施設(四月までは飾磨市民センターが飾磨支所・妻鹿連絡所、安室市民センター、花北

講座の内容

花の北市民広場

講座名	回数
料理	月4回(毎週木曜日)
茶道(2講座)	月4回(毎週月・金曜日)
華道(2講座)	月4回(毎週火・木曜日)
民謡舞踊	月4回(毎週水曜日)
箏曲・三弦	月4回(毎週水曜日)
園芸	月4回(毎週月曜日)
染色	月4回(毎週火曜日)
フラワーデザイン	月4回(毎週土曜日)
刺し子和裁	月4回(毎週金曜日)
陶芸	月4回
書道(2講座)	月3回(毎週月・火・金曜日)
着付(2講座)	月4回(毎週火・金曜日)
作法	月4回(毎週水曜日)
手芸	月4回(毎週金曜日)
民謡	月4回(毎週水曜日)

飾磨市民センター

講座名	回数
池坊	月3回
小原流	月4回
末生流(庵家)	月4回
表千家	月4回
裏千家	月4回
籾内流	月4回
小笠原流	月2回
着付と作法	月4回
料理	月2回
和裁	月4回
フラワーデザイン	月4回
手芸しゅう戸塚式	月3回
アートフラワー	月3回
書道	漢字 月2回
	仮名 月2回
詩吟(賀堂流)	月4回
謡曲	宝生流 月3回
	観世流 月3回
民謡	うた 月4回
おどり	おどり 月4回
おどり	おどり 月2回
一般園芸と盆栽	月2回

安室市民センター

講座名	回数
華道(末生流)	月2回(第1・3金曜日)
茶道(表千家)	月2回(第2・4金曜日)
着付(作法)	月2回(第2・4金曜日)
料理	月1回(第2金曜日)
手芸	ちぎり絵 月1回(第2土曜日)
	フェルト手芸 月2回(第1・3木曜日)
書道	月2回(第2・4水曜日)
陶芸	月2回(第1・3土曜日)
詩吟(攝楠流)	月2回(第1・3火曜日)
一般園芸と盆栽	月2回(第1・3金曜日)
民謡おどり	月2回(第2・4金曜日)
郷土史	月1回(第2水曜日)
子ども文庫(読書指導)	月4回(毎週土曜日)

城乾市民センター

講座名	回数
華道(嵯峨御流)	月4回(毎週水曜日)
茶道(裏千家)	月4回(毎週木曜日)
着付	月4回(毎週金曜日)
作法(現代マナー)	月4回(毎週水曜日)
書道	月2回(第1・3火曜日)
料理	月2回(第1・2木曜日)
俳句	月1回(第3日曜日)
園芸	月1回(土曜日)
子ども文庫(読書指導)	月4回(毎週水曜日)
アートフラワー	月2回(第2・4金曜日)

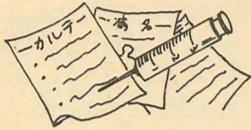
西市民センター

講座名	回数
手芸	月2回
料理	月2回
俳句	月1回
華道	池坊 月4回
	末生流(中山文庫会) 月4回
詩吟	月4回
着付	京都系 月4回
	東京系 月4回
茶道	月4回
書道	月2回
民謡	謡 月3回
民謡おどり	月2回
日常のマナー	月4回
囲碁	月2回
子ども文庫	月4回
剣道	月4回

※講座の日程は講師の都合により変更することがあります。

診察室からみた健康(1)

信じるものは すぐわれる



患者さんがやって来ましたが、「先生、今度保険ができたんだけど、保険でやったら悪い薬を使うのと同じです。」



今から二十年ほど前、姫路市にも国民健康保険ができた時の事だ。腸の具合が悪くて時々腹痛をおこす

「か」というので、「いやそんな事はありません」と答えたところ「それじゃ、保険を使わしてもらいます」と喜んで帰られました。ところが数日たつて又来院された時に「先生、あんなうまいこといったけど、保険の薬はやっぱり効かないんだ保険無しにしてくれ」といって高い料金を払って同じ薬を持って帰りました。そして数日、三度び来院された時に「やっぱり保険無しの薬は、よく効きますわ」といわれて弱ったことがありました。

このほど、五十四年度のコミュニティ活動優秀団体として二十地区連合自治会、十五町自治会が市長表彰(写真)を受けました。優秀団体はつぎのとおり。

【特別賞】城東、城北、広畑、妻鹿(以上地区連合自治会) 網干区大江島 同新在家(以上町自治会)

【最優秀賞】広畑第二(地区連合自治会) 甲保城 網干区余子浜(以上町自治会)

【優秀賞】城南 水上 旭陽 船津(以上地区連合自治会)

コミュニティ表彰 城東地区など特別賞に

まち美化優良表彰 2個人・11団体・15自治会

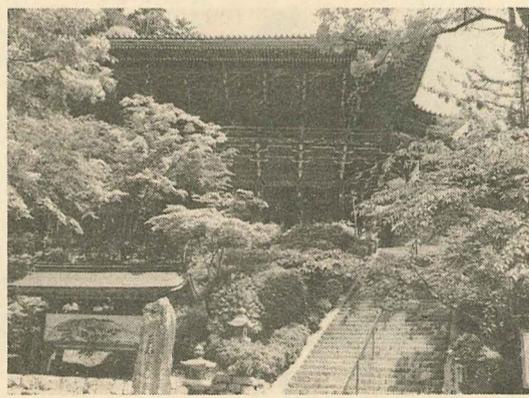
このほど姫路のまちを美しくする運動協議会は、活発な美化運動をされている方や団体を表彰しました。被表彰者、団体は次のとおり(敬称略)

個人：余子浜 立花美子(飾磨区西細江) 山口準一(八代町東 飯田各自治会)

団体：部お旅山環境保全同好会、あかしや会、城南公園愛護会、大塩町老人会、石ヶ岬子供会、広畑経済同友会、倫理研究所、立正佼成会姫路教会、妻鹿衛生委員連合会、天理教南支部、姫路スカウト連合会

変更：巡回交通事故相談の会場が四月十五日から飾磨市民センターに。行政相談の開催日が四月一日から毎週第一、第二水曜日に変わります。

ふると散歩 書写山円教寺



書写山には姫路の多くの観光地の中でも格別の味わいがある。それは書写が伝統的に培ってきた平安仏教の代表的な巨刹であることに由来するが、深山に真しなものを求めてやまなかつたかつての修業者たちの味をなつかしく思い出していた。

息吹きが神秘的な堂宇の中にいまだに籠っていて、それが訪れる者に一種の共感を呼んでいるようにも思える。

ロープウェイで登るのも場合によっては疲れた心身をいやす役割を果たしてくれている。わずかに五分ぐらいいの間でも宙にたると急に心身が軽くなったような気になるのが不思議である。この山へ己の心と対話しようと思つてくるときには、この空白の五分間はいわばこころの準備をしてきているのである。

書写山にはまた、興味のある史蹟や伝説にこと欠かない。それは単に書写の歴史を語るだけでなく、何百年もの間、書写山円教寺という存在が人々の心の中に生きてきた証しともいえる。和泉式部や弁慶のエピソードにしても人間性の善の部分やえぐった説話で、それが病める者を救うために開かれた書写山円教寺にはふさわしいし、人々も書写のイメージに人間性のあたたかさを感じたのであろうか。

あたたかくなるにつれて書写山は行楽客でにぎわいを見せる。春の到来を告げるうぐいすのさえずりを聞きながら、私はかつて円教寺本堂の下の茶店ですすった甘酒の味をなつかしく思い出していた。

